

2026年度

春セメスター入学Ⅱ期 試験問題

《 修士課程 第Ⅱ領域 》

専 門 科 目

— 注 意 事 項 —

1. 問題冊子は指示があるまで開かないこと。
2. 受験番号と氏名を問題冊子および解答用紙のそれぞれに必ず記入すること。
3. 解答は横書きのこと。
4. 解答用紙の余白にはなにも書かないこと。
5. 下書きは問題冊子の余白を使用すること。
6. 解答用紙は一組しか配付しない。
7. 試験終了後、問題冊子および解答用紙は持ち帰らないこと。

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

常磐大学大学院 人間科学研究科

問1 次の問に答えなさい。(配点 40 点)

心理臨床における「関与観察 (participant observation)」の臨床心理学的意義について、800 字以内で論じなさい。

その際、以下の①から④を 3 点以上を含めて論述すること。

- ① 関与観察の概念を簡潔に定義する
- ② 面接中心の心理臨床との違いに言及する
- ③ 関与観察がもつ有効性と限界を示す
- ④ 臨床家に求められる態度や倫理的配慮を述べる

問2 次の(1)から(4)のうち、2 問選択して解答しなさい。(配点 各 30 点)

(1) 少年院について、区分とその特徴について 200 字から 300 字程度で説明しなさい。

(2) 自閉スペクトラム症 (ASD) について、DSM-5-TR に基づき 200 字から 300 字程度で説明しなさい。

(3) スーパービジョンとコンサルテーションの違いについて、その目的・関係性・責任の所在に着目しながら、500 字程度で説明しなさい。

※用語の英語表記は不要とする (英語は文字数に含めない)。

(4) 標準偏差と標準誤差の違いについて説明し、それぞれがどのような場面で用いられる指標であるかを、心理学研究の具体例を想定して、500 字程度で論じなさい。

※用語の英語表記は不要とする (英語は文字数に含めない)。